

●多岐にわたる手続き

最近では遺品整理を専門に行う会社が登場してきました。その草分け的な会社が、2002年に設立された「キーパーズ」です。歌手のさだまさしさんの小説を原作として2011年に映画化された「アントキノイノチ」で、代表の吉田太一氏がモデルになりました。

キーパーズでは、年間1500件以上の遺品整理を手掛けています。最近では「子どもがない」とか、「遠方において長い間、仕事を休めない」という理由による依頼が増えており、生きているうちに遺品整理の相談を受けるケースも多いようです。孤立死の現場にも数多く立ち会っているという話を聞くと、改めて単身世帯の増加を実感させられます。

吉田さんは、死亡後の手続きを4つに分けて分かりやすく整理しているので紹介します（次ページ参照）。とくに社会的措置の手続き関係は、期限が限られているものも多いので、チェックリストなどをつくって対応するのが良いかもしれません。

また、相続の手続きについては、次のように分けられます。

〈相続手続きの種類〉

●単純承認

相続人が、被相続人（死亡した人）の土地の所有権などの権利と、借金などの義務を全て受

